

ミナマタ&大気の「1・28交流・連帯のつどい」



公務公共一般労組とミナマタ・大気の実行委員会主催の「ノーモア・ミナマタ原告団・大気汚染公害調停団を励ます交流・連帯のつどい」が2月28日夜、ラパスホールで開催され、あいにくの雨の中でしたが約100名が参加。ミナマタ・大気の被害者の訴えと弁護団の報告、橋本のぶよさん&コールラパスのうたとコーラスがあり、楽しく元気の出る“つどい”として大いに盛り上がりました。

水俣病裁判の原告団長(吉竹さん)からの訴えでは、「海のない山間部(大口地区)にも水俣から行商のおばちゃんが列車に乗って魚を売りに来た。その魚を食べた人が多くいた。自分もその一人」という。20数年前だったら考えなかったこと。水俣育ちの私でも大口地区に水俣病の症状の人がいたとは…。水銀汚染魚は動く、陸では人が運ぶ。海上に線引きしても意味ない。被害者の切り捨てと言うしかない。この集会を計画した身内の役員がぜん息患者と初めて知った。松崎書記長の発言も心に伝わった。一見何でもないように見える人も多く公害病に苦しんでいる。いままで以上に多くの人たちに支援をお願いしたい。

つどい実行委員長 丹木幸美(公務公共一般労組副委員長)

■ノーモア・ミナマタ東京訴訟(5～6陣&1～4陣の二つの裁判)

◇4月15日(月)12:30 ◇5月31日(金)14:00

■大気汚染「医療費救済制度」実現 4・23トヨタ本社前行動

◇4月23日(火)12:00～ トヨタ東京本社前

■東京あおぞら連絡会総会

◇4月23日(火)18:30～ 東京地評会館

東京公害患者と家族の会は3月24日に2019年総会を開きました。総会で再選された病氣療養中の西順司会長の近況をお伝えします。



西会長お見舞い

2月14日、私と松井静江さん、患者会の大越さんの3人で文京区千石の老健施設「ひかわした」に入所中の西順司さんの激励も兼ねてお見舞いしました。西さんはH22.12.6に自宅で脳梗塞に倒れ、一命は取り留めましたが右半身に麻痺が残り、言語障害も出てしまいました。発病してから足掛け9年に成ります。

私達が訪問した時は大きな多目的室でテニスの大阪なおみさんの全豪オープン準決勝のテレビ中継の観戦中で皆がテレビに釘付けで、西さんも車椅子でじっと画面を見ていました。私達の顔を見ると暫くしてから、3人の顔をじーと見比べてからニコッとした表情に変わりました。私達も1年半振りの訪問でした。車椅子の生活もそれなりに慣れて上手に操作してますし、顔を見てから理解するまで多少の時間を要しますが思い出して呉れている様です。何分にも言葉が出ませんのでその辺が本人も歯がゆいところでは有りますし、こちらも同様です。以前は(あいうえお帳)を持参したりしていましたが、中々本人が慣れていない事も有り難しい様です。写真が一番理解しやすい様ですので、次回は大きな写真を沢山用意するつもりです。

髪の毛は以前より多く、黒くもなってますし反応や仕草もそれ程変わりませんから入所9年目87歳を考えると可なり良好と言えるのではないのでしょうか。 文京支部 向田 清